



ニュースリリース 平成 26年 1月 30日

<企画展>「江戸時代の着物の復元」のご案内 ～常陽史料館～

常陽銀行（頭取 寺門 一義）は、このたび、常陽史料館（館長 館野 孝男）において企画展「江戸時代の着物の復元」を開催しますので、下記のとおりお知らせいたします。

水戸市在住の和裁士・山本泰子さんは、江戸時代の着物の復元制作にあたっており、厚生労働省より「現代の名工」として表彰されるなど、高い評価を得ています。

山本さんが復元に取り組むきっかけとなったのは、「日本きもの文化美術館」（福島県郡山市）で江戸時代の着物を目にし、現代とは異なる仕立てに興味を持ったことです。立場や身分による着物の形態や布地の違い、布の裁ち方によって異なる表情を見せる柄や配置に惹きつけられ、自らの手で復元してみたいとの思いを抱くようになりました。これまでに、80種類の着物を約半分のサイズで復元しています。

今展では、山本さんの作品のほか、代々宮中の衣紋道（装束調進）を担当してきた高倉家から譲られたとされる、中御門上皇御用御束帯（束帯、唐衣・裳装束）を4分の1で忠実に再現した立雛も展示いたします。

つきましては、多くの皆さまにご覧いただけますようご高配を賜りたくご案内申し上げます。

記

企画展：「江戸時代の着物の復元」

作者：山本 泰子 氏（2007年厚生労働省より「現代の名工」として表彰）

会期：2月4日（火）～3月23日（日）

休館日：毎週月曜日

開館時間：10：00～17：45

会場：常陽史料館 アートスポット（入場無料）

以上